



Contents

- 表紙 P1
- 事業管理者挨拶 P2
- 心不全チームの取り組み P3
- 外来診察担当医表 P4
- 各部署・イベント等の紹介 P5 ～ P7
- お知らせ P8

事業管理者挨拶

阿蘇市病院事業管理者
阿蘇医療センター 院長
甲 斐 豊



新型コロナウイルス感染症（新型コロナ）の第3波は2020年秋から拡大し、2021年3月末に収束しましたが、その後第4波が4月上旬から6月下旬まで蔓延しました。

7月に入ってから第5波はデルタ株による感染が主流になり、県内の感染者数は8月下旬の10日間で2,355人に達するなど激増し、9月末にようやく収束しました。

当院でもこの間、阿蘇保健所をはじめ行政機関との密な連携を図り、陽性患者の受入れ、発熱外来でのトリアージ、ワクチン接種、地域医療機関・高齢者施設等の感染防止対策の支援等に取り組んでまいりました。しかしながら、国内でも12月に入って新型変異株の感染が確認されるなど、今後も新型コロナの明確な終息は見通せず、当面は現状の体制を維持したまま一般医療との並走を継続することになりそうです。

ただ、昨年と違ってきた点では、現場における新型コロナという感染症に対する心理的負担がいくらか軽減した感覚があります。それはやはりワクチンの接種率向上、軽症・中等症に応じた治療薬の導入による効果や、症状に応じた診断・治療法など、根拠に基づいた対処法がある程度確立され、一方では県内全域でも適宜な対応策等が提示・共有化され、実施されてきたことによるものと思います。

行政機関では第6波に備え、3回目のワクチン接種・病床確保・宿泊施設確保、圏域ごとの対応フローの調整等、引続き様々な諸施策に取り組まれています。加えて医療現場の視点では、新型コロナ陽性者受入れ医療機関の拡充、入院・宿泊療養・自宅療養を判断するトリアージ機関、特殊疾患（認知症・精神疾患・透析）の受入体制、高齢者・福祉施設の感染防止対策など、更に整備を図るべき部分もあるように思われます。

今秋の阿蘇では修学旅行の観光バスや県外車両が多く見られるようになりました。

医療体制や感染防止対策は維持しつつも、このような平穏な状態が続くのを願うばかりです。

阿蘇医療センター 心不全チームの取り組み

阿蘇医療センター
循環器内科部長
地域医療連携部長

宮本 信三

心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、次第に悪化し、生命を縮める病気です。全国的に人口の高齢化、生活習慣病の増加、急性心筋梗塞に対する急性期の治療成績の向上により、一命は取り留めたものの、心機能の低下した患者さんが、心不全を発症し入院する割合が年々増加しています。それに対して阿蘇医療圏では、高齢、女性、心房細動に多く見られる心機能の保たれた心不全の患者さんが半数を超えているという特徴があります。当院には心機能の低下した患者さんだけでなく、心機能の保たれた患者さんの両方のタイプが心不全を発症されて入院されています。そのタイプに関わらず、心不全を発症した患者さんの死亡率は約10%で、一旦症状が軽快し退院できたとしても再入院率は約30%と非常に高く、治療に難渋する疾患であります。さらに心不全での再入院の回数が増える程、死亡率が高くなるという特徴があります。

そこで阿蘇医療圏での心不全の再入院および心不全死を減らすために、院内に医師、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、臨床工学技士、社会福祉士からなる多職種で治療介入を行う心不全チームを立ち上げました。そして、この領域で先進的な取り組みを行い、成果を上げている大阪心不全地域連携の会が作成しているハートノートを用いた①患者教育の標準化、②心不全評価方法の標準化、③診療情報の標準化のシステムを2021年9月に阿蘇医療圏に導入いたしました。このシステムを用いて、多職種が協働して、近隣の医療機関の先生方や介護老人保健施設あるいはグループホームなどの介護施設の職員の方々との連携をさらに強化して、阿蘇医療圏での心不全の再入院および心不全死を減らしたいと考えております。

阿蘇医療センター 心不全チーム



阿蘇医療センター外来診察担当医表

2021年
10月1日
から

一般外来 午前 受付時間 8:30～11:30（診療時間 9:00～12:00）
午後 受付時間 13:00～16:30（診療時間 14:00～17:00）

- 一部の専門外来を除いて午前中のみ診療になります。緊急時は救急外来で対応いたします。
- 当院は、「予約診療」（原則）です。電話予約の上の来院をお願いします。

（－は休診）

診療科		月	火	水	木	金	土
内科	午前	湯本 信也 井上 大暉	春木 紗良	湯本 信也	井上 大暉	湯本 信也 春木 紗良	－
	午後	－	湯本 信也 （在宅酸素療法外来のみ）	－	－	－	－
脳神経外科	午前	甲斐 豊	甲斐 豊	－	甲斐 豊	甲斐 豊	－
循環器内科	午前	山本 正啓	山本 正啓	宮本 信三	中嶋 直也 〔熊大病院循環器内科〕	宮本 信三	－
	午後	山本 正啓 （睡眠時無呼吸症候群外来のみ） 14:00～16:00 ※1	－	－	－	－	－
脳神経内科	午前	－	－	松原崇一朗 ※4	－	－	－
	午後	－	－	松原崇一朗 ※4	－	－	－
整形外科	午前	坂本 圭	坂本 圭	坂本 圭	湯上 正樹 〔熊大病院整形外科〕	－	－
	午後	－	－	－	湯上 正樹 〔熊大病院整形外科〕	－	－
消化器外科	午前	－	坂本 悠樹 近本 亮（第2水曜の前日）	近本 亮 （第2水曜除く）	坂本 悠樹	－	－
リウマチ 膠原病内科	午前	－	－	中村 正（第4水曜）	－	－	－
	午後	－	－	中村 正（第4水曜）	－	－	－
乳腺 内分泌外科	午前	岩瀬 弘敬 （月2回指定日）	－	－	－	－	－
	午後	岩瀬 弘敬 （～15:00 月2回指定日）	－	－	－	－	－
糖尿病・代謝 ・内分泌内科	午前	－	－	－	八木 喜崇	井形 元維	－
	午後	－	－	－	八木 喜崇	井形 元維	－
血液内科	午後	鈴島 仁（第2月曜）	－	－	－	－	－
腫瘍内科	午前	－	－	－	境 健爾（第3木曜）	－	－
消化器内科	午前	具嶋 亮介（11:00～）	－	吉成 元宏（11:00～）	－	植原 哲史（肝疾患）	－
	午後	具嶋 亮介（～15:00）	－	吉成 元宏（～15:00）	－	植原 哲史（肝疾患）	－
呼吸器内科	午前	－	坂田 晋也（9:30～）	－	－	佐伯 祥	－
腎臓内科	午後	－	－	－	－	平松 晶子 （新患11:00～）	－
	午後	－	－	－	－	平松 晶子 （14:00～15:00）	－
耳鼻咽喉科	午前	－	－	－	熊大病院担当医	－	－
婦人科	午前	－	－	－	－	片渕 秀隆 （第2・4金曜）	－
歯科口腔外科	午前	－	高宗 康隆 ※2	高宗 康隆（再診のみ）	－	高宗 康隆 ※2	－
	午後	－	高宗 康隆 ※2	－	－	高宗 康隆 ※2	－
小児科 専門外来	午前	－	－	上土井 貴子 （第2・4水曜）※3	－	－	－
	午後	－	－	上土井 貴子 （第2・4水曜）※3	－	－	－
人工透析	午前	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也	平松 晶子 〔熊大病院〕	〔熊大病院担当医〕 湯本 信也（第5土曜）

※1…受付時間 13:00～15:30（診療時間 14:00～16:00）

※2…予約制です。また、紹介状（かかりつけの歯科医院等から発行していただく。）をお持ちでない患者さんは受診できません。

※3…原則、小学生までの受入れ。ただし、紹介状が有る場合は中学生までの受入れです。

※4…予約制です。前日 17:15 までに予約のお電話をお願い致します。

総合診療	午前	春木 紗良	大井 勝臣	井 清司	山本 正啓	大井 勝臣
------	----	-------	-------	------	-------	-------

※ご来院時に患者さんの症状に対応できる診療科の診療が行われていない場合にご案内致します。

小児外来 午前 受付時間 8:30～11:30（診療時間 9:00～12:00）
午後 受付時間 13:00～18:00（診療時間 14:00～18:15）

診療科		月	火	水	木	金
小児科	午前	橋山 元浩	橋山・堀 いづれか	堀 愛莉花	橋山 元浩	堀 愛莉花
	午後	橋山 元浩	橋山・堀 いづれか	堀 愛莉花	橋山 元浩	堀 愛莉花

各部署・イベント等の紹介

第25回熊本県国保地域医療学会を開催

『第25回熊本県国保地域医療学会』が2021年10月23日（土）にオンラインで開催されました。

今回の学会は事務局が当院の当番で開催されました。県下国保関連施設等の参加機関数39団体、参加登録者数233名のもと、学会のテーマ「withコロナ時代の地域医療」に沿った30件の演題について研究発表が行われました。同学会の内容は2021年10月29日から同11月15日までオンデマンドにより配信され、そのアクセス件数は422件でした。

なお、特別講演では、国立大学法人熊本大学学長の小川久雄先生から、「循環器治療の実態と対策」と題して、新型コロナウイルス感染症とも関連づけて大変貴重なご講演をいただきました。

日本医療薬学会年会シンポジスト参加

第31回 日本医療薬学会年会が2021年10月9・10日に『伝承と挑戦・進化—未来志向で医療薬学を俯瞰する—』をテーマにWeb開催され、当院からもシンポジストとして、西千春薬剤師が参加しました。

「地方の県指定がん診療連携拠点病院の取り組みと課題」を主題に、がん診療連携拠点病院が存在しなかった阿蘇圏域でがん治療の均てん化を進めるため、安全キャビネットを整備し抗悪性腫瘍薬の無菌調整業務を開始し、院内でもキャンサーボードや緩和ケアチームの活動等に取り組んだ結果、2020年4月に熊本県指定がん診療連携拠点病院に指定されたこと、地方公立病院では医師をはじめ医療スタッフ数が少ない環境で質の高い医療提供を目指すには、県内のがん診療連携拠点病院、各医療機関や地域保険薬局等とも更に連携を深め情報共有の充実を図る必要があることなど、現状と今後の課題等に関し発表しました。

医療安全部感染防止対策室 柿本感染管理認定看護師表彰

この度、熊本県知事より、優良看護職員として表彰状を賜りました。関係者の皆様には深く感謝申し上げます。

看護学校卒業から40年近く、看護師として勤める中、2013年に取得した感染管理認定看護師の資格は、感染防止対策を図る上で大きな力となりました。その資格と経験・知見を活かし、今回の新型コロナ感染症に際しては、阿蘇地域のクラスター発生を最小限に止めるよう初期対応に努めてきました。

まだまだ道半ばであり、今後も自己研鑽しながら看護の質向上発展に努めて参ります。



DMAT（災害派遣医療チーム）活動

この度DMAT隊員を拝命しました整形外科の坂本圭です。阿蘇地域並びに国内の災害医療に微力ながら貢献できたと考えております。今後ともよろしくお願いします。

DMAT (Disaster Medical Assistance Team) とは、専門的な訓練を受けた医師・看護師などからなり、災害発生直後から活動できる機動性を備えた医療チームです。負傷者が多数発生する災害現場では、DMATが消防や警察、自衛隊などの関係機関と連携しながら救助活動と並行して医療活動を行います。大規模な災害となれば、多くの負傷者に効率良く対応するため、どの負傷者を優先して治療するか、どの病院に搬送すべきかを判断する「トリアージ」も行います。

DMAT隊員となるには、医療従事者であっても養成研修（東京DMATは1.5日、日本DMATは3.5日）を受講する必要があります。また、危険を伴う災害現場で隊員の安全を確保するために、被服・ヘルメット・保護靴などが支給されています。



栄養管理室の活動

入院、外来栄養指導の活動

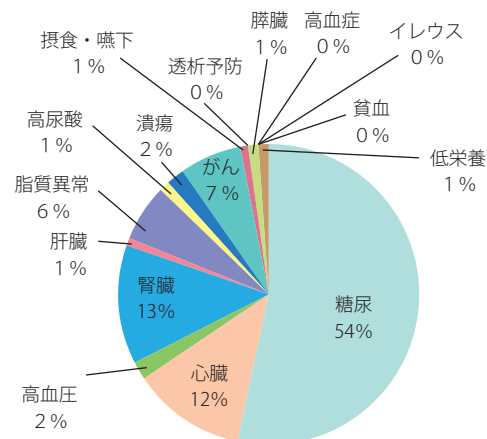
糖尿病や高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病改善を目的とし、患者の生活習慣に合わせた栄養指導を行っています。

入院、外来栄養指導の活動

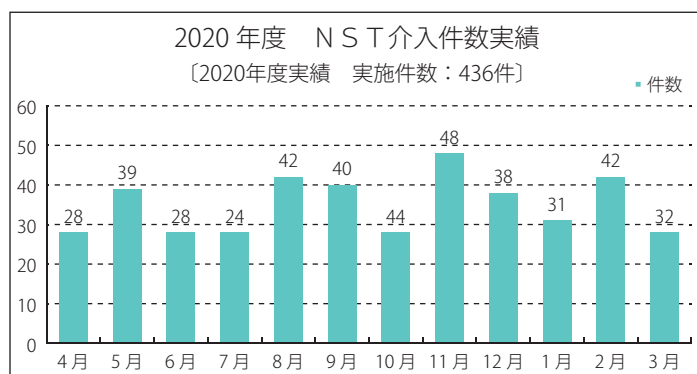
当院では2018年度に、栄養サポートチーム（NST）を発足しました。栄養状態が低下している患者や、今後悪化する可能性のある患者に対し、管理栄養士を中心に医師、歯科医師、薬剤師、看護師など多職種が連携を図り、治療成績が向上するよう栄養面のサポートを行っています。

緩和ケア患者向け個別対応メニューの作成

緩和ケアを目的とする患者の要望に応えるため、新たにセレクトメニューを作成しました。食事が摂れない場合に、医師や看護師等と連携を取りながら、患者が欲しいものが摂取できるようサポートを行っています。



2020年度 栄養指導実施内容（食種）



緩和ケアパネル展示に参加

例年、熊本大学病院緩和ケアセンター主催で、一般市民の方々への「緩和ケア」の普及・啓発を推進することを目的にパネル展示が行われています。本年度は10月23日（土）・24日（日）に熊本下通りアーケードで開催された同展示に、当院も参加しました。内容は当院のがん診療への取組状況、活動報告、地域連携等に関するものです。

なお、2021年12月6日（月）～20日（月）に開催された熊本パレアロビーでの資料展示にも参加しました。



高齢者施設職員の研修実施

近時、高齢者施設においても医療処置を必要とする入所者が増加傾向にあります。また、地域包括ケアシステムの推進には医療と介護の連携が必須であるため、当院では看護部と地域医療連携部が連携を図り、阿蘇圏域の医療機関や施設を訪問し、看護技術の提供による質の向上や情報交換など、積極的な活動を行っています。

看護部では今年度の活動の一環として、当院の新人看護職員の研修の際に、近傍の高齢者施設の希望職員を受け入れて、吸引療法、褥瘡・皮膚ケア、採血方法、経管栄養の4項目に関して研修を実施しました。

実践的な看護技術研修や感染防止対策を含めて、医療と介護に共通する情報交換も行われ、相互理解が深まった有意義な機会となりました。

生理検査室の活動

当検査室には女性技師6名、男性技師2名が在籍しています。基本的に女性患者の方には、女性技師が検査対応しております。

当検査室で実施している生理検査は、心電図検査・心臓、頸部、下肢超音波検査（エコー）・運動負荷試験（トレッドミル、エルゴメータ）・24時間心電図検査（ホルター）・脳波検査・血圧脈波検査（ABI）・睡眠時無呼吸検査（PSG）・肺機能検査・聴力検査・眼底カメラ検査などです。



心エコー検査の様子



心エコーミーティングの様子

当検査室では、熊本県内の超音波検査（エコー）に関わる医師や臨床検査技師等で行う『熊本県心血管エコー検査標準化プロジェクト（K-CHAP）』『熊本県左室壁運動評価均一化ミーティング（心エコーミーティング）』に参加するなど、医療機能の強化・及び検査精度の向上に努めています。

医療機器等の更新整備

マンモグラフィ撮影装置

2021年8月にマンモグラフィ撮影装置を更新しました。

本装置は、検出器にa-Se直接変換FPD（フラットパネルディテクタ）を搭載し低線量を実現、また画像解析技術を搭載したi-AFC（自動露出機構）の併用で乳房ごとの適切線量を実現しています。直接変換方式FPD最小画素サイズ $50\mu\text{m}$ により微小の石灰化の描出能を高め、更に線質補正技術と微細構造鮮明化処理により従来線量の30～40%の線量低域を可能としています。また受診者の圧迫感を軽減するため減圧機能も備えています。



CT撮影装置

2021年11月にCT装置を更新しました。

スペックは従前機と殆ど変更はなく、検出器は80列、最速0.35秒/回転で撮影可能です。胸部・腹部等の撮影は1呼吸で最短2～3秒で撮影できます。またグレードアップした点は、いま話題のdeep learning（ディープラーニング）による再構成が可能になり、より緻密な画像解析ができるようになりました。



院内保育所の整備

当院では、2022年4月から院内保育所を開設します。保育所は、定員10名で、生後2ヵ月から小学校未就学児までを対象とし、職員の福利厚生及び子育て支援の充実に図ります。

なお、院内保育所は、病院北側のリハビリ庭園の一面に建設中で、2021年12月中の完成を予定しています。



火災避難救助訓練

2021年11月11日（木）阿蘇医療センター検体検査室より出火したことを想定した火災避難救助訓練を行いました。

避難終了後は、阿蘇消防本部より消火器の使用法の説明を受け、実際に水消火器を使用した消火訓練も行いました。



オンライン資格確認の導入

当院では、2021年10月20日に本格運用が開始された「オンライン資格確認」のシステムを導入し、マイナンバーカードを健康保険被保険者証として利用ができる体制を整備しました。

顔認証付きカードリーダーを院内の3ヶ所に設置し、うち1ヶ所は救急外来受付に設置しており、夜間や休日での利用にも対応できるようになっております。



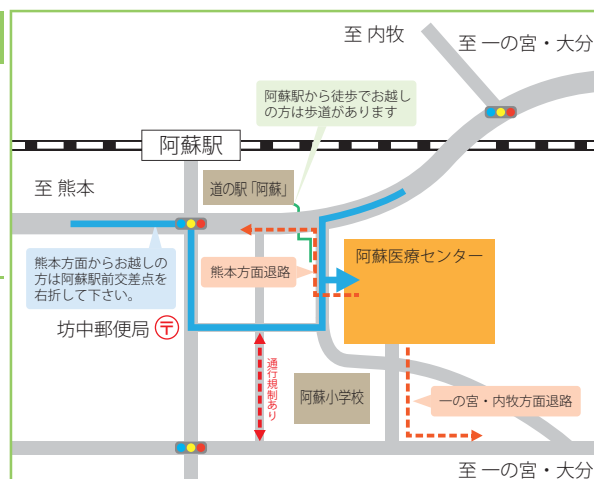
診療予約・変更・お問い合わせ

外来予約センターにお電話頂き、予約や変更等についてお問い合わせ下さい。

外来予約センター ▶ 0967-34-0319
(平日… 8:30～17:15)

その他、診療や連携に関する各種お問い合わせや、相談は地域医療連携室へご連絡ください。

地域医療連携室 ▶ 0967-34-0463



阿蘇医療センター広報誌17号

2021年12月発行



阿蘇医療センター

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1266
TEL 0967-34-0311（代表）FAX 0967-34-2273
<http://www.aso-mc.jp>



スマートフォン等にてバーコード読み取りでホームページ閲覧ができます

